【完全攻略】登録販売者試験合格テキスト＆問題集
追補

「試験問題の作成に関する手引き」令和６年４月・令和７年４月一部改訂　対応

本冊子は、令和６年４月および令和７年４月に登録販売者試験に係る「試験問題の作成に関する手引き」（厚生労働省）が改訂されたことに伴い、『完全攻略 登録販売者試験合格テキスト＆問題集（2024 年４月 30 日発行）』の内容を補正するためにまとめたものです。

2024 年４月（2025 年４月一部改訂）

中央法規出版株式会社

＜第２章　人体の働きと医薬品＞

Ｒ６＝令和６年４月の一部改訂／Ｒ７＝令和７年４月の一部改訂

<table>
<tr><th>改訂
年度</th><th>該当
頁</th><th>該当
箇所</th><th>改訂前</th><th>改訂後</th></tr>
<tr><td>Ｒ６</td><td>75</td><td>ページ下部「口腔用錠剤」の表</td><td>＜錠剤（内服）＞　（出題率）
□□●（略）
□□●（略）
□□●（略）

＜口腔用錠剤＞　（出題率）
□□●錠剤の分類

<table><tr><td>口腔内崩壊錠</td><td>口の中の唾液で速やかに溶ける工夫がされているため、水なしで服用することができ、固形物を飲み込むことが困難な高齢者や乳幼児、水分摂取が制限されている場合でも、口の中で溶かした後に唾液と一緒に容易に飲み込むことができる</td></tr><tr><td>チュアブル錠</td><td>口の中で舐めたり、噛み砕いたりして服用する剤形で、水なしでも服用できる</td></tr><tr><td>トローチ
ドロップ</td><td>薬効を期待する部位が口の中や喉であるものが多い。飲み込まずに口の中で舐めて、少しずつ溶かして使用する</td></tr></table></td><td>＜錠剤（内服）＞　（出題率）
□□●（略）
□□●（略）
□□●（略）
□□●水なしで服用できる錠剤として、次のものがあげられます。

<table><tr><td>口腔内崩壊錠</td><td>口の中の唾液で速やかに溶ける工夫がされているため、水なしで服用することができ、固形物を飲み込むことが困難な高齢者や乳幼児、水分摂取が制限されている場合でも、口の中で溶かした後に唾液と一緒に容易に飲み込むことができる</td></tr><tr><td>チュアブル錠</td><td>口の中で舐めたり、噛み砕いたりして服用する剤形で、水なしでも服用できる</td></tr></table>
＜口腔用錠剤＞　（出題率）
□□●口腔内に適用する製剤であり、次のものがあげられます。

<table><tr><td>トローチ剤
ドロップ剤</td><td>薬効を期待する部位が口の中や喉であるものが多い。飲み込まずに口の中で舐めて、少しずつ溶かして使用する</td></tr><tr><td>舌下錠</td><td>有効成分を舌下で溶解させ、有効成分を口腔粘膜から吸収させる</td></tr></table></td></tr>
</table>

＜第３章　主な医薬品とその作用＞

Ｒ６＝令和６年４月の一部改訂／Ｒ７＝令和７年４月の一部改訂

<table>
<tr><th>改訂年度</th><th>該当頁</th><th>該当箇所</th><th>改訂前</th><th>改訂後</th></tr>
<tr><td>Ｒ６</td><td>139</td><td>終わりから８行目「効果・備考等」</td><td>デキストロメトルファンフェノールフタリン塩</td><td>フェノールフタリン酸デキストロメトルファン</td></tr>
<tr><td>Ｒ７</td><td>179</td><td>５行目</td><td>中性脂肪が 150 mg/dL 以上のいずれかである状態</td><td>中性脂肪が空腹時 150 mg/dL 以上のいずれかである状態</td></tr>
<tr><td>Ｒ７</td><td>180</td><td>ページ下部「まとめ」</td><td>まとめ「脂質異常症の診断基準」<table><tr><td>LDL（悪玉コレステロール）</td><td>140 mg/dL 以上</td></tr><tr><td>HDL（善玉コレステロール）</td><td>40 mg/dL 未満</td></tr><tr><td>中性脂肪</td><td>150 mg/dL 以上</td></tr></table></td><td>まとめ「脂質異常症の診断基準」<table><tr><td>LDL（悪玉コレステロール）</td><td>140 mg/dL 以上</td></tr><tr><td>HDL（善玉コレステロール）</td><td>40 mg/dL 未満</td></tr><tr><td>中性脂肪</td><td>空腹時 150 mg/dL 以上</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>Ｒ７</td><td>186</td><td>７行目</td><td>痔は、肛門部に過度の負担をかけることやストレス等により生じる生活習慣病です。</td><td>痔は、肛門部に過度の負担をかけることやストレス等により生じます。</td></tr>
<tr><td>Ｒ６</td><td>209</td><td>13 行目「相互作用」の前</td><td>(f) 抗炎症成分<table><tr><td>成 分</td><td>グリチルリチン酸二カリウム</td></tr><tr><td>作 用</td><td>鼻粘膜の炎症を和らげる
※Ⅰ　かぜ薬（☛P.109）を参照</td></tr></table>＜相互作用＞　（出題率）</td><td>(f) 抗炎症成分<table><tr><td>成 分</td><td>グリチルリチン酸二カリウム</td></tr><tr><td>作 用</td><td>鼻粘膜の炎症を和らげる
※Ⅰ　かぜ薬（☛P.109）を参照</td></tr></table>□□●ステロイド性抗炎症成分が配合されている場合には、長期連用を避けます（Ⅹ　皮膚に用いる薬（☞P.221）を参照）。
＜相互作用＞　（出題率）</td></tr>
</table>

＜第４章　薬事関係法規・制度＞

Ｒ６＝令和６年４月の一部改訂／Ｒ７＝令和７年４月の一部改訂

改訂年度	該当頁	該当箇所	改訂前	改訂後
Ｒ６	305	20 行目	薬事・食品衛生審議会	薬事審議会
	307	14 行目		
	308	終わりから５行目		
		終わりから３行目		
	309	６行目		
		９行目		
	310	20 行目		
		下から５行目		
	363	問 28		
Ｒ７	318	24 行目の次	（新規）	□□●2024（令和６）年３月に発生した紅麹関連製品による健康被害を受けて、「特定保健用食品の表示許可等について」（平成 26 年 10 月 30 日消食表第 259 号）が改正されました。特定保健用食品について、許可等に係る食品の健康被害（医師の診断を受け、当該症状が当該食品に起因する又はその疑いがあると診断されたものに限る。）に関する情報を収集し、その発生及び拡大のおそれがある旨の情報を得た場合には、当該情報を都道府県知事等に速やかに提供するとともに、当該情報について消費者庁長官に提供する体制が整っていることが許可等の要件とされました。

改訂年度	該当頁	該当箇所	改訂前	改訂後
R7	319	10 行目の次	（新規）	□□●2024（令和 6）年 3 月に発生した紅麹関連製品による健康被害を受けて、機能性表示食品についても、同年 8 月に届出者の遵守事項として次の 2 点を追加する改正が行われ、同年 9 月から施行されています（食品表示基準）。 ①事業者の責任において機能性関与成分によって健康維持・増進に資する特定の保健目的が期待できる旨を表示し、反復・継続して摂取されることが見込まれる機能性表示食品について、事業者（届出者）は、健康被害と疑われる情報を収集し、健康被害と疑われる情報（医師が診断したものに限る。）を把握した場合は、当該食品との因果関係が不明であっても速やかに消費者庁長官及び都道府県知事等（都道府県知事、保健所を設置する市の市長又は特別区の区長）に情報提供すること ②製造工程管理による製品の品質の確保を徹底する観点から、機能性表示を行う天然抽出物等を原材料とする錠剤、カプセル剤等食品については GMP に基づく製造管理（令和 8 年 9 月 1 日までの経過措置期間あり） □□●食品衛生法施行規則についても、2024（令和 6）年 8 月の改正により、健康被害と疑われる情報（医師が診断したものに限る。）を把握した特定保健用食品に係る許可を受けた者および機能性表示食品の届出者に対して、都道府県知事等（都道府県知事、保健所を設置する市の市長又は特別区の区長）への情報提供が義務づけられました。

<table>
<tr><th>改訂年度</th><th>該当頁</th><th>該当箇所</th><th>改訂前</th><th>改訂後</th></tr>
<tr><td>R6</td><td>357</td><td>別表 4-1「(3)その他の医薬部外品」および「効能効果の範囲」「浴用剤」の次</td><td>
<table>
<tr><td>浴用剤：原則としてその使用法が浴槽中に投入して用いられる外用剤（浴用石けんを除く）</td><td>あせも、あれ性、打ち身、肩のこり、くじき、神経痛、湿疹、しもやけ、痔、冷え症、腰痛、リウマチ、疲労回復、ひび、あかぎれ、産前産後の冷え症、にきび</td></tr>
</table>
＊1　毛髪を単に物理的に染色するものは含まない。
＊2　人の身体を清潔にし、美化し、魅力を増し、容貌を変え、または皮膚もしくは毛髪を健やかに保つために使用される目的（法第 2 条第 3 項）</td><td>
<table>
<tr><td>浴用剤：原則としてその使用法が浴槽中に投入して用いられる外用剤（浴用石けんを除く）</td><td>あせも、あれ性、打ち身、肩のこり、くじき、神経痛、湿疹、しもやけ、痔、冷え症、腰痛、リウマチ、疲労回復、ひび、あかぎれ、産前産後の冷え症、にきび</td></tr>
<tr><td>消毒剤：物品の消毒・殺菌を目的とする消毒剤</td><td>家具・器具・物品等の消毒・殺菌、哺乳びん・乳首の消毒・殺菌、調理器具、食器の消毒・殺菌、室内の消毒・殺菌、浴室・便所の消毒・殺菌</td></tr>
</table>
＊1　毛髪を単に物理的に染色するものは含まない。
＊2　人の身体を清潔にし、美化し、魅力を増し、容貌を変え、または皮膚もしくは毛髪を健やかに保つために使用される目的（法第 2 条第 3 項）</td></tr>
<tr><td>R6</td><td>358</td><td>別表 4-2 の（注 3）の次</td><td>（新規）</td><td>注 4）　(56）については、日本香粧学会の「化粧品機能評価ガイドライン」に基づく試験等を行い、その効果を確認した場合に限る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">R7</td><td>359</td><td>別表 4-3 の「保健機能成分」欄 6 行目</td><td>杜仲葉配糖体（ベニポシド酸）</td><td>杜仲葉配糖体（ゲニポシド酸）</td></tr>
<tr><td></td><td>（参考）主な情報入手先</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">（独）国立健康・栄養研究所</td></tr>
<tr><td>「健康食品」の安全性・有効性情報</td><td>https://hfnet.nih.go.jp/</td></tr>
</table>
</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">（独）国立健康・栄養研究所</td></tr>
<tr><td>「健康食品」の安全性・有効性情報</td><td>https://hfnet.nih.go.jp/</td></tr>
<tr><td>機能性表示食品の届出情報検索</td><td>https://www.fld.caa.go.jp/caaks/cssc01/</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<第５章　医薬品の適正使用・安全対策>

Ｒ６＝令和６年４月の一部改訂／Ｒ７＝令和７年４月の一部改訂

<table>
<tr><th>改訂年度</th><th>該当頁</th><th>該当箇所</th><th>改訂前</th><th>改訂後</th></tr>
<tr><td>Ｒ7</td><td>390</td><td>7行目</td><td>法第 68 条の２ の5 第１ 項の規定により、</td><td>法第 68 条の２ の6 第１ 項の規定により、</td></tr>
<tr><td>Ｒ6
及び
Ｒ7</td><td>392</td><td>「医薬品・医療機器等安全性情報」：一般用医薬品に関連する主な記事</td><td><table><tr><th>解説記事</th><th>掲載号</th><th>発行年月</th></tr><tr><td>濫用等のおそれのある市販薬の適正使用について</td><td>No.365</td><td>令和元年８月</td></tr></table></td><td><table><tr><th>解説記事</th><th>掲載号</th><th>発行年月</th></tr><tr><td>市販薬乱用に対する取り組みについて</td><td>No.418</td><td>令和７年４月</td></tr><tr><td>濫用等のおそれのある医薬品の改正について</td><td>No.400</td><td>令和５年４月</td></tr><tr><td>濫用等のおそれのある市販薬の適正使用について</td><td>No.365</td><td>令和元年８月</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>Ｒ6</td><td>398</td><td>終わりから１行目</td><td rowspan="2">薬事・食品衛生審議会</td><td rowspan="2">薬事審議会</td></tr>
<tr><td>Ｒ6</td><td>404</td><td>終わりから２行目</td></tr>
<tr><td>Ｒ7</td><td>406</td><td>終わりから５行目</td><td>殺虫剤・殺鼠剤、殺菌消毒剤（人体に直接使用するものを除く）</td><td>殺虫剤・殺鼠剤（人体に直接使用するものを除く）、殺菌消毒剤（人体に直接使用するものを除く）</td></tr>
<tr><td>Ｒ6</td><td>411</td><td>別表 5-1「本剤また本剤の成分によりアレルギー症状」を起こしたことがある人」の「主な成分・薬効群等」</td><td>デキストロメトルファンフェノールフタリン塩</td><td>フェノールフタリン酸デキストロメトルファン</td></tr>
</table>

改訂年度	該当頁	該当箇所	改訂前	改訂後
R６	414	別表 5-1「服用後、乗物または機械類の運転操作をしないこと」薬効群「かぜ薬、鎮咳去痰薬」の主な成分	コデインリン酸塩水和物、ジヒドロコデインリン酸塩	コデインリン酸塩水和物、ジヒドロコデインリン酸塩、デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物、フェノールフタリン酸デキストロメトルファン（※） ※鎮咳去痰薬

【完全攻略】登録販売者試験合格テキスト＆問題集
（ISBN：978-4-8243-0063-8）
追補

「試験問題の作成に関する手引き」令和６年４月・令和７年４月
一部改訂　対応

発行　中央法規出版株式会社